

「行列力学入門」「波動力学入門」に続き 理工数学シリーズ『量子力学』を締めくくる

量子力学 III 磁性入門

2024年 10月 29日 発売

量子力学の角運動量演算子という手法をもとに、人類は古典力学を参考にしながら、電子軌道にともなう磁性の解明に成功する。

しかし、説明のできない発光スペクトルの異常分裂に出会い、ついに、電子スピンという第4の自由度にたどりつく。

その結果、スペクトルの複雑な分裂構造である異常ゼーマン効果の説明にも成功する。これによってすべての磁性現象が解明されることになる。

さらに、演算子と固有値という量子力学的アプローチが、磁性においても正しかったことを証明するものであった。

本書は、量子力学という武器を手に、物理学者たちが明らかにしたマイクロ世界の物語の総仕上げである。

理工数学シリーズ

量子力学 III

Quantum Mechanics

磁性入門

電子が回転運動すれば磁場が発生する。それならば、原子には電子軌道にともなう磁性が存在するはずである
しかし、マイクロ世界の磁性はそれだけではなかった!!
スピンと呼ばれる磁性が存在したのである

量子力学でしか
説明できない強磁性!

途中の式を省略しない
高校数学から優しく橋渡りする

村上雅人 / 飯田和昌 / 小林忍

飛翔舎

理工数学シリーズ
第8弾!
2860円
税込

A5判並製 232頁

村上雅人 編著

元芝浦工業大学学長 工学博士

情報・システム研究機構監事/理工数学研究所所長

飯田和昌

日本大学生産工学部電気電子工学科 教授

博士(工学)

小林忍

理工数学研究所 主任研究員

ご注文は、**銚谷書店 FAX 03-5390-2213** までお願い致します

銚谷書店を通じて、全ての取次番線での手配が可能です○返品条件付き：返品時は版元了解が必要です

書店印・番線印	ご注文数	ご注文日	
ご担当者名 ()	冊		量子力学 III 磁性入門 村上雅人/飯田和昌/小林忍 著 ISBN 978-4-910879-16-1 C3042 本体2,600円+税 / A5判・並製 / 232頁 出版 飛翔舎 (取引コード：7150)